

## ティーチング・ステートメント

所属 保健医療学部理学療法学科

名前 棚橋 嘉美

作成日 2022年3月10日

### 【責任】

理学療法学科および北の高齢社会アクティブライフ研究所に在籍し、基礎評価学、運動器系理学療法学、日常生活活動系分野についての授業およびゼミ指導を担当している他、国家試験対策業務、就職支援センター主任(2020-2021年)、学科の予算・物品管理、オープンキャンパス業務や高校への出前講義などを行っている。

### 【理念】

理学療法士は、患者さんが元の生活に戻るための手助けをする職業である。そのため、学生には患者さんの心身状態を改善していくための知識・技術に加え、患者さんやそのご家族に寄り添い、他職種とも円滑に連携を行うための配慮や人間性を獲得してもらうことが重要であると考えます。

知識や技術は一度学べば良いものではなく日々アップデートされていくものなので、大学卒業後も常に学び自身を高めていくことが重要となる。そのためにも、学生時代から学び続けることの大切さと、新たな知識や技術を得ることの楽しさを知り、臨床に出ても学会や研修会に参加し、自ら研究活動を行うなど積極的に学び続けることの出来る理学療法士となってもらいたい。

加えて、知識・技術だけでなく一人の人間としても患者さんや他職種から信頼を得ることが出来る振る舞いを自然と行えるよう、社会人として必要な態度・考えを学生時代から育んでほしい。

### 【方針・方法】

学生が能動的に学び、基礎を含め生きた知識を身に着けることが出来る環境を提供できるように取り組む。同時に、社会人として必要な振る舞いを意識してもらうため、学生の模範となれるように意識して振る舞う。

#### ・基礎知識をしっかり定着してもらう

授業内容の一区切りごとに小テストを実施することで、こまめな自己学習を心がけてもらうと同時に、同じ内容を反復学習することで基礎知識の定着をはかる。小テストや期末試験後は、全体に対して結果のフィードバックを実施し、復習に役立てることが出来るようにする。

#### ・ただ詰め込むのではなく生きた知識にしてもらう

#### ・能動的に学ぶ・取り組むことが出来る力を身に着けてもらう

実技演習やグループワークなどを行い、ただ聞くだけの授業にならないようにする。また、学生が集中かつ能動的に講義に取り組めるように、配布資料だけで授業内容が完結しないよう、適宜補足・詳細説明を行うよう心掛けている。

学生から質問があった場合は、質問内容に対して答えだけを提示するのではなく、学生自身も考えるよう促しながら何がわからないのか、どうすれば理解できるのかを一緒に考えていく。

#### ・学生に対して平等にかつ礼儀をもって接し、社会人として手本になるように振る舞う

学生のことは基本姓+さん(くん)付けで呼ぶようするなど、一部学生にだけ特例対応(心身の理由で配慮が必要な場合を除く)をしないように配慮する。

また、教員自身が授業の時間・約束を守るなど社会人として当たり前に対応をすること

で、学生にも社会人としての振る舞いを意識してもらえるよう心がけている。

- ・自身の専門性を高め、知識を常にアップデートしていく  
学生に対して常に新しい知識を提供できるよう、教員自身も学びを怠らないよう研究活動も進めていく。理学療法分野のみではなく関連する他分野についても学会参加などで知識を得ることができるよう取り組む。

#### **【成果・評価】**

- ・高校への出前授業、オープンキャンパスなどへの取り組みから、毎年定員を満たす入学者を得ることができている。
- ・2021年度の理学療法士国家試験では約97%の学生が合格することが出来た。
- ・就職支援センター主任を務めた2020年度と2021年度は、学科教員の協力を得て就職率はいずれも100%であった。
- ・2021年度授業を担当した科目において、前期は再試験を実施したが最終的に全員合格となり、後期は再試験対象者無く全員単位取得となった。

#### **【目標】**

- ・自身の博士号取得（2022年度）
- ・国家試験合格率100%（2022年度）
- ・学生に専門性の高い教育だけでなく、生きた知識を身に付けて貰えるような教育を提供
- ・自身の専門領域以外の学会などにも参加し、幅広い知識を身に付け教育に活かす